

高校図書館部会による展示

初めての完全オンライン開催

■はじめに

2021年12月11日(土)・12日(日)に、今年で15回目となる「図書館と県民のつどい埼玉2021」が開催されました。

新型コロナウイルス感染防止のため、例年のような会場でのイベント・展示は行わない、はじめての完全なオンライン開催です。

はじめからオンライン開催を前提にスタートしたのは今回が初めてで、これまでにないことがたくさんありました。

いろいろなことが手探りで、たいへんなこともありましたが、以下のように、充実したイベントや展示が出そろい、たくさんの人に喜んでもらうことができたと思います。

<WEB 展示>

数字で見る高校図書館

ネットワーク展示写真帖

埼玉県推奨図書

埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本
若手司書紹介 (県立図書館との合同展示)

<Live イベント>

高校図書館をのぞいてみよう その1

高校図書館をのぞいてみよう その2

司書はこの図書館の本、全部読んでいますか?

■準備について

2019年度から高校図書館部会の運営は地区ネットワークの持ち回りで行うことになり、今年度は東部C(主担当)と東部A(副担当)が担当ネットワークとして4名ずつ実行委員を選出し、実行委員会を立ち上げました。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、

打ち合わせや情報共有には、電話やメールのほかGoogle Classroom、Google Meet、Zoomなどを活用した結果、実際に実行委員が顔を合わせて会議を行うことは1度もありませんでした。

第1回 2021年8月16日(月)

会場：Google Meet

内容：企画展示内容の検討

役割分担 ほか

第2回 2021年10月18日(月)

会場：Google Meet

内容：進行状況の確認

公式サイトについて ほか

その他 担当者打ち合わせ・リハーサルなど
会場：Zoom

2021年10月25日(月)

「司書はこの…」リハ

2021年11月11日(木)

「のぞいてみよう②」打ち合わせ

2021年11月12日(金)

「司書はこの…」打ち合わせ

2021年11月29日(月)

「のぞいてみよう②」リハ

2021年11月30日(火)

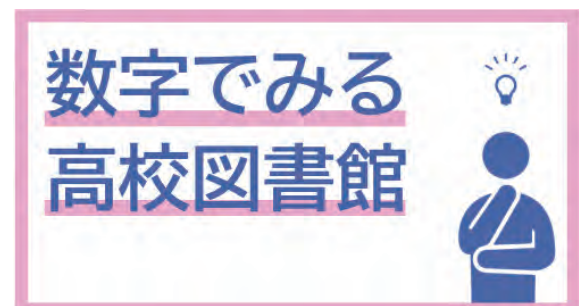
「のぞいてみよう①」リハ

「司書はこの…」リハ

例年のような前日準備などもなく、当日は各企画の担当者がそれぞれの場所から配信を行いました。

■WEB 展示について

① 数字で見る高校図書館



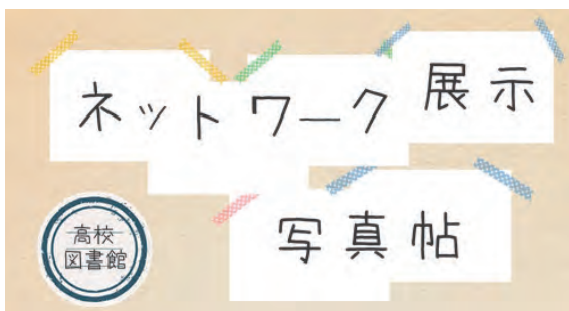
埼玉県高等学校図書館研究会(埼玉高図研)による学校図書館基本調査などの統計情報をもとに、埼玉県の高校図書館をわかりやすくインフォグラフィックス風に紹介するWEB展示です。

今回は、学校数、利用者数、平均蔵書冊数、平均貸出冊数、平均図書費、平均授業利用時間数など、12のテーマで埼玉県の高校図書館の現状を紹介しました。

数字だけを見ても、具体的な「量」を想像するのが難しい統計に対して、「このくらい」をわかりやすく示すことができました。

作成にあたっては、埼玉高図研白書委員会、レファレンス委員会、図書館協力委員会など、さまざまな研究・専門委員会にもアドバイスをいただきました。見やすく、わかりやすい展示になったと思います。

② ネットワーク展示写真帖



埼玉県には、17の高校図書館ネットワークが組織されており、情報交換や図書館資料の相互貸借などを行っています。ネットワーク活動は、埼玉県の高校図書館の大きな特徴の1つです。

今年度、高校図書館部会の運営を担当したのは、それら17あるネットワークのうちの2つで、越谷地区の高校図書館9校によって構成されている「東部Aネットワーク」と、草加・松伏・吉川・八潮・三郷地区にある、10校の高校図書館によって構成されている「東部Cネットワーク」です。

そこで、埼玉県の高校図書館ネットワークについて、わかりやすく解説するとともに、ネットワーク活動の具体的な例として、我々がやっている「ネットワーク展示」の様子を紹介するために、

「ネットワーク展示写真帖」というWEB展示を企画しました。

東部Aネットワーク、東部Cネットワークは、どちらもネットワーク展示を行っていますが、実施方法が異なります。

東部Aネットワークが1つの展示が各校を巡回して行く「巡回展示」という方法なのに対して、東部Cネットワークは、1つの展示テーマのもと、各校が独自に展示を作成する「ネットワークテーマ展示」という方法を取っており、そうした違いから、特色豊かで多様な展示の風景が集まりました。

展示風景は、内容によって「〇〇の世界」系、「タイトルと表紙インパクト」、「夜ふかし」と「おいしいもの」のススメ、「ひらがな」系と「色」しぼり、エトセトラ、という5つのジャンルに分け、展示されている資料リストと併せてアルバムに掲載しました。見ごたえのあるWEB展示になったと思います。

③ 埼玉県推奨図書



令和3年度埼玉県推奨図書に関するWEB展示です。埼玉県では青少年の皆さんに読んでいただきたい図書を埼玉県推奨図書として選定しています。

毎年、高校図書館部会が県民生活部青少年課と協力して行っている展示で、例年は会場で図書展示を行っています。今年度は昨年同様にWEB展示として各種資料等を掲載しました。

掲載資料は、青少年課へのリンク、チラシ「令和3年度埼玉県推奨図書」「埼玉県推奨図書が決まるまで」「令和4年度埼玉県推奨候補図書応募用紙」などです。

例年、図書館と県民のつどい埼玉における会場展示は、埼玉県推奨図書に関する来場者のご意見を収集し、青少年課にお伝えできる貴重な場となっていました。オンライン開催であっても、WEB ページからの応募やアンケート回答などによって、そうしたことが少しでも継続できれば良いと考えています。

④ 埼玉県の高校図書館司書が選んだ

イチオシ本



埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本は、県内の高校図書館司書の投票によって、過去1年間に出版された本のなかから「高校生に読んでほしい本」ベストテンを決める、ブックランキングです。

有志の実行委員によって運営されており、「イチオシ本 2020」で 11 回目を迎えました。投票には例年 100 人以上の高校図書館司書が参加しており、毎年2月の発表後には、県内の書店や公共図書館で「イチオシ本フェア」が行われるなど県内に深く定着しています。

例年、その年の「イチオシ本」に選ばれた作品を会場で展示していましたが、今年度の図書館と県民のつどい埼玉は完全オンライン開催となったため、イチオシ本公式サイトへ誘導するバナーを掲載していただくという形での参加となりました。

実際にパンフレットや本を手にとっていただくことはできませんでしたが、公式サイトをご覧になった方が、「イチオシ本」の取り組みに、少しでも興味を持っていただけたら嬉しく思います。

■最後に

今回は、初めての完全オンライン開催ということで、これまでにない企画を、手探りで準備し、運営していくことになりました。

最初のうちは、どのくらいのことができるか不安もありましたが、実行委員全員が熱意をもって企画に取り組み、結果的に質・量ともに例年よりも充実したのではないかなと思えるほど、素晴らしい WEB 展示や Live イベントをお届けすることができました。

2年経っても、まだまだ収束する気配を見せないコロナ禍は、さまざまな物事を急速にオンライン化しました。

はじめて触れるために戸惑ったり、難しい、ややこしいと感じたりすることも、まだまだたくさんありますが、その反面オンライン化によって、これまでよりも簡単便利になったことも、たくさんあるように感じます。今回の図書館と県民のつどい埼玉には、例年では参加の難しい、他県の方・遠隔地の方の参加もたくさんありました。

来年にはこのコロナ禍が収まるのか、来年の図書館と県民のつどい埼玉がどんなふうで開催されることになるのかはわかりませんが、もしコロナ禍が収まったとしても、リモート会議やオンラインイベントは、続いていくのかもしれない。

「リアル」と「オンライン」の使い分けや共存は、今後の企画を考えるうえで、重要な視点になるのではないかと思います。

(記録：埼玉県立松伏高等学校 玉井 敦)